

# 大人としての 新たな一歩を踏み出す

## 令和3年はたちのつどい

1月10日「令和3年はたちのつどい」が社会福祉センターで行われ、新成人41人が出席し、新たな門出を祝いました。今年、大人の仲間入りを果たした新成人は57人です（平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方）。今年の式典は、入場前にアルコール消毒と「サーマルカメラ」による検温、マスクやマウスシールドの着用など、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で開催されました。

川島眞澄教育長は「日々の練習はつらいけれど、そのつらさ乗り越えれば、前よりも強い自分になれる」と、新成人が生まれた20年前のシドニーオリンピック女子マラソンで金メダルを獲得した高橋尚子さんの言葉を紹介し「つらいときや不安なときは、一人ではなく多くの人に支えられていることを思い出し、感謝の気持ちを忘れることなく、地道に努力を重ねてほしい」と式辞を述べました。

来賓の棚野孝夫町長は「変革の時代こそチャンス。皆さんの柔軟な発想や行動力、情熱を持って一歩一歩前向きに努力をし、幸せな人生を送って下さい」と、富田忠行町議会議長は「本日を機に、自覚と責任を胸に刻み、勇気を持って大人としての歩みを進めてください」とそれぞれ祝辞を述べました。新成人を代表して、八幡勇斗さんと長尾来未さんが「はたちの誓い」を読み上げ、成人として新たな決意を胸に刻みました。



「はたちの誓い」を述べた八幡勇斗さんと長尾来未さん。

